

28年6月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年6月1日～ 28年6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は45社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 5.4	△ 5.4	△ 10.0
	外材	△ 8.3	△ 7.1	△ 8.8
販売動向	国産材	△ 5.6	△ 4.9	△ 7.4
	外材	△ 8.5	△ 6.1	△ 10.3
在庫動向	国産材	△ 12.5	△ 5.6	△ 3.0
	外材	△ 3.7	△ 8.5	△ 11.5

・国産材及び外材製材品の仕入れ、販売及び在庫は3カ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	△ 3.7	0.0	0.0
ヒノキ正角	△ 3.4	△ 1.7	△ 1.9
ヒノキ土台角	△ 1.7	△ 1.7	△ 1.9
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.1	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	2.0	0.0	△ 2.0
米ツガ割物(現地挽)	2.1	0.0	0.0
米マツ平角	△ 1.9	△ 1.9	△ 4.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	5.6	5.8	2.0
ホワイトウッド集成管柱	19.6	10.7	4.0
レッドウッド集成平角	0.0	1.9	1.9
型枠合板(輸入)	△ 10.0	2.0	△ 4.3
針葉樹構造用合板	10.9	13.0	2.4
針葉樹構造用合板(厚物)	15.2	9.5	4.8

・スギ製材品の価格は、3カ月連続して総じて横ばい。ヒノキはやや弱含みで推移。

・米ツガは総じて保合い。
・米マツはやや弱含み。

・北洋アカマツタルキ(現地挽)はやや強含み。

・WW集成材管柱は強含み、RW集成平角は保合い。

・型枠合板(輸入)はやや弱含み、針葉樹構造用合板はやや強含みで推移。